

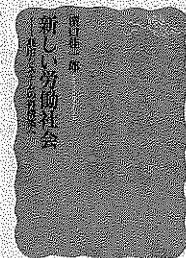
刊

第三種郵便物認可

新しい労働社会

複雑な問題への総合的な視座

濱口桂一郎著



「ホワイトカラーエグゼン プション(労働時間の規制 除外制度)」「偽装請負」「派遣切り」…。労働をめぐる深刻な諸問題が日々報道されている。とはいえ、問題の本質がどこにあるのか、実をいえばよくわからな

「ホワイトカラーエグゼン」…これまでの日本では、とくに大企業などを中心とする雇用において、就職にあたっていかなる職務を遂行するのかが、具体的に規定されていないことが多かった。雇用契約を結ぶ際に職務内容がはっきりしないというこ

い。本書は、労働法の専門家であり、ブログなどでも積極的に発信していることで知られる著者による一般向けの解説書であるが、歴史と比較の視座を取り入れ、「問題は単純

ではない」ことが繰り返して説明されている。とくにいわゆる日本型雇用システムの特徴から、現在の問題を総合的に捉えようとしている点は、示唆的である。

しかしながら、このことは現状を考へるならば、とても残念なことだ。現在まさに深刻な失業問題に直面している若年世代を中心とする人々は、職についている人

しかしながら、このシステムは非正規の中心が主婦や学生であった時代はともかく、現在の若年大量失業の時代にあつては維持しがたい。とはいえ、歴史的に形成され

(岩波新書、735円)

著者は労働政策研究・研修機構統括研究員。1958年、大阪府生まれ。

【評】字野 重規 (東大社会科学研究所準教授)